

「A2-BCP」ガイドラインを見直しました。 ～ 自然災害に強い空港を目指して ～

自然災害に強い空港作りに向けて、空港管理者等の参考となる「A2-BCP」^{※1}ガイドラインを見直しました。

航空局では、平成30年9月の台風第21号等による空港への被害を契機に、有識者による委員会を設置し、大規模な自然災害が発生した場合においても我が国の航空ネットワークを維持し続けることができるよう、主要空港の機能確保等の対策や緊急に着手すべき課題を整理し、平成31年4月に「災害多発時代に備えよ！！～空港における「統括的災害マネジメント」への転換～」としてとりまとめたところ。

本とりまとめでは、当該空港の関係機関が個別に対応するのではなく、空港全体として一体となって対応していくための計画として、各空港において「A2-BCP」を策定することが盛り込まれ、自然災害に強い空港づくりを目指していくこととなりました。

一方、空港は地理的要件等がそれぞれ異なり、求められる機能も多様であることから、「空港における自然災害対策に関する検討委員会」（以下、検討委員会という。）を令和元年5月に設置し、検討委員会で審議、「令和元年房総半島台風」や「令和元年東日本台風」の経験を踏まえ、同年11月「A2-BCP」ガイドライン【案】を公表しました。

今般、空港管理者のご意見等を踏まえ、「A2-BCP」ガイドライン【案】を見直し、「A2-BCP」ガイドラインを取りまとめたので公表します。

引き続き、本ガイドラインを参考に、自然災害に強い空港を目指し、真に実効性のある「A2-BCP」の見直しを推進します。

【添付資料】「A2-BCP」ガイドライン（主な追記内容）

ガイドライン全文については、国土交通省ホームページをご覧ください。

→ http://www.mlit.go.jp/koku/koku_tk9_000031.html

※1 「A2-BCP」は、「Advanced」（先進的）な「Airport」（空港）のBCP（Business Continuity Plan：事業継続計画）を意味します。

<問い合わせ先>

・ 航空局航空ネットワーク部空港技術課 矢嶋、見城

TEL:03-5253-8111[内線:49502、49526]、03-5253-8725(直通)、FAX:03-5253-1656